

# 大教会の諸活動

## ▼月定例行事▲

- 4日 岡心勇隊佐賀地区
- 6日 大教会ひのきしん (岡谷・眞世・南洲)
- 8日 岡心勇隊奈良中和
- 9日 岡心勇隊五條橋本 (あやの台)
- 13日 岡心勇隊八幡地区
- 15日 大教会ひのきしん (道弘)
- 18日 岡心勇隊大阪地区
- 21日 大教会ひのきしん (相嘉)
- 22日 祭典準備ひのきしん
- 22日 大教会ひのきしん (表野・飛鳥川・岡秋)
- 大教会役員会議
- 22日 婦人会伏せ込みひのきしん
- 23日 大教会月次祭
- 23日 婦人会詰所ひのきしん
- 23日 大教会ひのきしん (東松浦・西北)
- 24日 大教会ひのきしん (詰所ひのきしん)
- 25日 本部月次祭
- 26日 岡心勇隊姪浜会場
- 30日 第一日曜日 おぢば伏せ込み団参 (午前中)

## ▼その他の行事予定▲

- 3月
- 1日 教祖140年祭全教会一斉巡教 ※5月にかけて実施
  - 10日 松ヶ江創立100周年記念祭
  - 24日 大教会春季霊祭
  - 27日 岡学担「春学」関連行事
  - 30日 少年会岡団総会
  - 30日 教会子弟練成会

- 4月
- 1日 教祖140年祭全教会一斉巡教 ※5月にかけて実施
  - 18日 教祖誕生祭
  - 19日 よろこびのハーモニー
  - 23日 婦人会第105回総会
  - 23日 婦人会ハザー
  - 29日 全教会一斉ひのきしんデー

# 教務報

### ◆教養掛

- 3月 岡谷 森井 正次
- 4月 伊萬里 森川 善紘

### ◆別席願 (1月16日～2月15日受付分)

- 南阿太 芝田 憲真

### ◆第128回教人資格講習会前・中・後期修了者

- 須光 光武 大和 (1月27日～2月10日)

葬儀は吉田政彦・東松浦分教会長齋主のもと、1月8日みたまうつし、9日告別式が天理教肥城分教会(佐賀県多久市)で執り行われました。長年、会長として道の御用の上に尽くされた氏の功績を讃え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。



肥城分教会 四代会長  
永田 ミチ子氏 (95歳)  
1月7日お出直し

# 立教一八六年 三月号 (二月二十三日発行)

# 岡大教会連絡報

岡大教会ホームページ



oka.or.jp  
発行所 高市郡明日香村岡 395  
〒634-0111  
天理教岡大教会  
電話 (0744)54-2002  
FAX (0744)54-3889  
E-mail info@oka.or.jp  
186.2.23 / 049



## POINT

### 今月のメッセージ

#### 「人の陽気ぐらしを楽しむ心」

親神様は、人間が陽気ぐらしするのを見て共に楽しみたいと、この世と人間をお造り下さいました。実に親ならではの心持ちです。私達も、自分の子供が楽しんでいると、見ているだけで一緒に楽しめます。そして、親神様は私達が陽気ぐらし出来るように親心を尽くして下さいました。それで私達も、人が陽気ぐらしできるように心を尽くさなければならぬと教えられます。しかし、実際にはどうで

しょう。自分が陽気ぐらししなければという思いはありますが、人の陽気ぐらしは後回しになりがちです。それで、なかなか陽気ぐらしが出来ないのでしょう。自分の陽気ぐらしより、人様の陽気ぐらしを思って心を尽くす中に、自分の陽気ぐらしは自然と生まれていくように思われます。まずは、家庭や職場の身近な人の心が、少しでもカルクなるように、アカルクなるように取り組んでみたいと思います。(吉田)

## 教祖140年祭企画 / 私の年祭活動

“春一番”が吹き、温かく穏やかな気候となった2月19日。教会本部の東回廊で、仲良く回廊を拭く家族の姿を見つけた。「おぢばに帰ってくる人達のが多くが、なぜ回廊拭きひのきしんをしているか分かるか?」。家族にそう話しかけるのは、森井道典さん(大教会役員・眞世分教会長)。そこからひと時、信仰についての話で盛り上がりながら、回廊を拭き進める。家族での伏せ込みを心に定め

教祖百四十年祭に向かう年祭活動が始まり、ようばく一人ひとりが思案を深め、心を定め、成人を求めて実動を展開しています。今月号から新企画「私の年祭活動」がスタートします。教祖のひながたを求め、一歩ずつ成人の歩みを進める教友の姿を紹介したいと思います。

## 教祖先年祭に向けて 家族が一手一つに



たのは、昨年の12月。「伏せ込みの句」「たすけの句」と聞かせて頂く教祖先年祭。行事としての伏せ込みは数多くあるが、果たして自ら求めて伏せ込んでいたのだろうか……。そんな思いから、月に一度の本部回廊でのひのきしんを決めた。加えて、「真柱様が求められている一手一つを思い、家族と一緒に実動したかった」という。黙々と拭き進める中、時折、父として投げかける問いから会話が生まれる。「日頃は思うように話せないことも、伏せ込みながらだと会話できる」。そう話す表情は穏やかだった。

## おぢば伏せ込みひのきしん



晴天の下1月恒例の「おぢば伏せ込みひのきしん」が開催され、約80人が西の第2広場で除草作業を実施しました。立教186年最初の大教会としての伏せ込みひのきしん。心も勇み、年祭活動の機運も高まりました。

## 婦人会伏せ込みひのきしん



1月は、岡菟、大和二見、岡道、牛津、飛鳥川の5教会から参加。「教祖年祭活動1年目の最初の月に、皆さんと楽しくつとめさせていただきました。今年1年、笑顔を絶やさずに歩ませていただきます」。

## 全教会一斉巡教を実施中



教祖140年祭に向かう年祭活動の一つとして実施されている「全教会一斉巡教」。真柱様の思し召しが込められた「諭達第4号」を基に、年祭活動を進める上での心構えが巡教員によって伝えられている。

## 賑やかに節分の「豆まき」



「鬼は外！福は内！」との掛け声で、豆をまく日本の伝統文化「節分」。2月3日の夕づとめ後、大教会神殿で「豆まき」が行われました。教祖に御供したお菓子を豆に見立て、大教会長様の掛け声で「豆まき」をしました。

ぜひ、友達登録してください

天理教岡大教会  
LINE 公式アカウント

様々な情報を配信します。  
ぜひ友達登録してください！



▲年頭会議に参集した教会長夫妻。教祖年祭活動に向けて仕切って立ち上がり、歩みを進める。

## 大教会

# さあ仕切って教祖年祭活動へ！ 教会長夫妻が一同に会し「年頭会議」開催

1月24日、大教会では教会長夫妻を対象に「年頭会議」を開催。代理出席や青年会岡分会幹部を含む72人が参加した。年祭活動一年目を迎えた大教会では「教祖年祭は『伏せ込みの句』『おたすけの句』をスローガンに掲げ、主な活動方針として①「心一つに」、②「ひながたを目標に教えの実践を」、③「日頃からひのきしんを」、④「身近なところからにをいがけを」を打ち出した。

年頭会議ではまず、大教会長様があいさつに立ち、教祖百四十年祭に向かう教会長夫妻の心構えを説明。その上で「自ら求める姿勢の大切さ」について話した。続いて、活動方針の①、②、④をテーマに取り上げて班別にねらいあいを実施。

①では、午後2時におぢばを選擇して教祖に心に向け、教会ではお願いづとめを勤める姿勢について言及。また、午後2時のミュージックサイレンの活用を紹介した。②では自らが決めたひながたの実践を求め、各教会の実情について意見を交換。④では、「あなたの小さな心配りを、おたすけにつなぎましょう」と呼びかけ、『天理いきいき通信(道友社)』の活用を推進した。

「天理教婦人会創立記念の日」に思いを馳せて――

## 「みちのだい」の心構えを再確認

婦人会岡支部（吉田陽子支部長）は1月25日、詰所遙拝場で「天理教婦人会創立記念の日」に関連した行事を開催。明治43年1月28日に創設された婦人会の元一日に思いを馳せ、「みちのだい」としての心構えを再確認した。

なお、1月27日には西北分教会、2月1日には福門分教会、2月5日には東松浦分教会で同行事を開催。また、各委員部単位でも同様の行事が開催された。

